

株 主 通 信

第122期 第2四半期末号

2013年4月1日から 2013年9月30日まで

証券コード：6448

At your side.



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第122期第2四半期末の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期(2013年4月1日～9月30日)における世界経済は、米国では緩やかな成長が持続し、欧州では景気に持ち直しの兆しが見られ、日本においても景気の回復が鮮明なものの、新興国においては通貨安による景気の悪化が懸念されるなど、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、ブラザーグループの売上高は前年同期を大きく上回りました。営業利益につきましては、ほぼ前年同期並みとなりましたが、経常利益と四半期純利益につきましては減益となりました。

当第2四半期には、新興国向けモノクロレーザープリンターの戦略商品を投入するなど、中期戦略CS B2015の達成に向けた取り組みを着実に進めており、今後も、各事業での開発・製造・販売を進めるとともに、成長に向けた設備投資や研究開発投資も予定通り継続してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

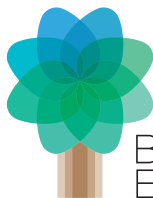
代表取締役社長

小池利和



At your side.

いつもお客様第一に考え、
優れた価値を創造し、迅速にお届けしたい。
“At your side.”という言葉には、
そんなブラザーグループの思いが込められています。
この“At your side.”の精神のもと、ブラザーグループは、
地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、
世界中のお客様が実現したい
新しいライフスタイルやワークスタイルを、
製品やサービスを通じて応援していきます。



Brother
Earth

よりよい地球環境を、あなたとともに。

CONTENTS 〈目次〉

01 株主の皆さまへ

02 目次

03 **2013年度
第2四半期決算の概況**

05 **主要事業セグメントの
営業概況**

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業
パーソナル・アンド・ホーム事業
マシナリー・アンド・ソリューション事業
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業
工業用部品事業

09 **トピックス**

より多くのお客様にご満足いただくために
コンパクトマシニングセンタの新ブランドSPEEDIO(スピーディオ)誕生
東日本大震災 継続的な復興支援活動

13 **連結財務諸表 1**

貸借対照表(要旨)

15 **連結財務諸表 2**

損益計算書(要旨)／キャッシュ・フロー計算書(要旨)

17 **株式の状況**

18 **会社の概要**

この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果がありうることをご承知おきください。

この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

2013年度 第2四半期決算の概況

2013年度 第2四半期累計期間の営業概況

2013年度第2四半期のブラザーグループの売上高は、産業機器の需要減少に伴い、マシナリー・アンド・ソリューション事業が減収となったものの、通信・プリンティング機器を中心に、円安による為替のプラス影響や、株式会社ニッセイの新規連結効果などにより、売上高は前年同期比17.9%増の2,884億5千5百万円となりました。営業利益は、円安による為替のプラス影響はあるものの、産業機器が減収となったことや、販売費及び一般管理費などの費用増加の影響により、前年同期比1.3%減の193億6千4百万円となりました。経常利益は、保有している為替予約

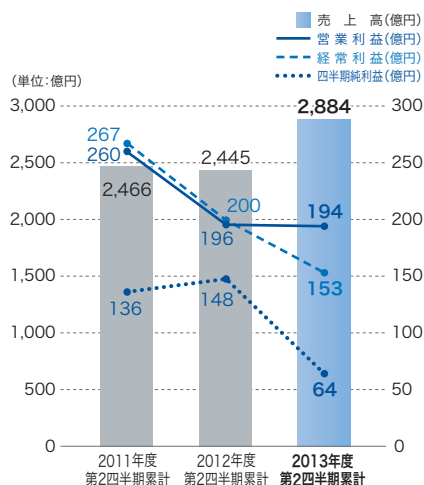
にかかる決済差損が増加した影響により、前年同期比23.5%減の153億2千3百万円となりました。四半期純利益は、税効果会計の影響で法人税等が増加したことなどにより、前年同期比56.6%減の64億3千5百万円となりました。

(単位:億円)

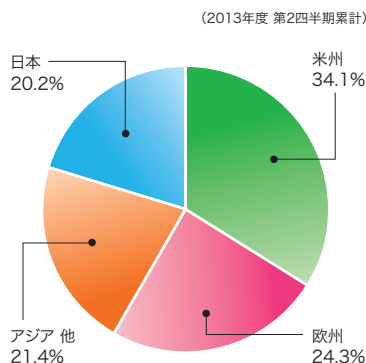
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2013年度 第2四半期累計 連結業績	2,884	194	153	64

※2013年度第2四半期(累計)における平均為替レートは次の通りです。
米ドル 98.0円、ユーロ 128.8円
2012年度第2四半期(累計)における平均為替レートは次の通りです。
米ドル 79.4円、ユーロ 101.1円

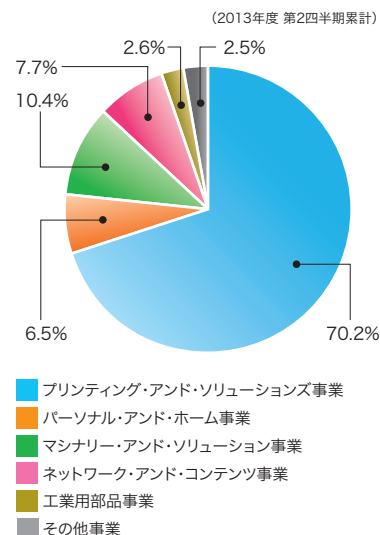
業績の推移



市場別売上高の構成比



事業セグメント別売上高の構成比



2013年度 通期の業績見通し

2013年度の業績見通しにつきましては、売上高は、為替の想定レートを円安方向に変更したことによるプラス影響を大きく受け、前回予想を上回る見通しです。営業利益は、為替の想定レートの変更によるプラス影響を織り込んだものの、通信・プリンティング機器及びネットワーク・アンド・コンテンツ事業の見通しの引き下げによるマイナス影響もあり、前回見通しから変更はありません。経常利益、当期純利益については、為替の想定レートの変更により、保有している為替予約にかかる決済差損が増加する影響を織り込んだ結果、前回予想を下回る見通しです。

なお、2013年度業績見通しの前提となる、予想部分の為替レートについて、1米ドル=90円から、1米ドル=95円へ変更しております。ユーロについては、1ユーロ=120円から、1ユーロ=125円へ変更しております。

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年度予想 2013/11/5発表 (対前予想増減率)	6,000 (+2.6%)	350 (-)	295 (△7.8%)	165 (△10.8%)
2013年度予想 2013/8/6発表	5,850	350	320	185
2012年度実績	5,161	298	231	178

※2013年11月5日発表の2013年度通期見通しにおける平均為替レートは次の通りです。
米ドル 97円、ユーロ 127円

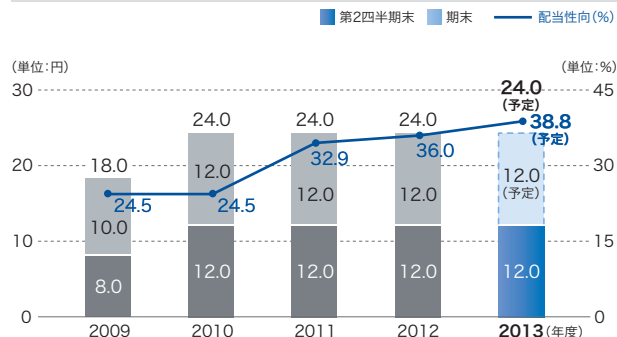
株主還元について

2013年度第2四半期末の配当金につきましては、期初予想通り、1株当たり12円とさせていただきます。期末配当の予想につきましても、期初予想通りの12円を予定しており、年間配当は前年度と同額の1株当たり24円を予定しております。

また、自己株式の取得について、2013年11月13日に、ブラザー工業の連結子会社である株式会社ニッセイが保有していたブラザー工業株式約306万株を、約32億円で購入しました。

今後も、将来の成長のための投資に必要な内部留保の確保やキャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じた積極的な利益還元を実施してまいります。

1株当たり配当金



主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

事業紹介

プリンティング技術を追求め、ワークスタイルの革新を提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、一台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、直感的な使いやすさにこだわったラベルライターなど、SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)をはじめとするオフィスでの幅広いニーズにお応えします。

主要製品等

複合機、プリンター、ファクス、電子文具、スキャナー、タイプライター

売上高

2,025億3千3百万円

●通信・プリンティング機器

主に米州において、製品本体・消耗品ともに堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響などにより、全体では前年同期比26.8%増の1,801億5千1百万円となりました。

●電子文具

主に米州・日本で売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響などにより、全体では前年同期比29.0%増の223億8千2百万円となりました。

営業利益

147億2千2百万円

販売費及び一般管理費が増加したものの、為替のプラス影響により、前年同期比18.8%増の147億2千2百万円となりました。

製品紹介

インクジェットプリンター プリビオ 「DCP-J4215N」

奥行きわずか290mmの本体でA3印刷が可能。パソコンなしでも簡単に楽しく年賀状作りができる機能を搭載しました。

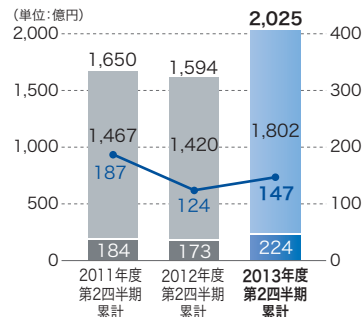


ドキュメントスキャナー 「ADS-1500W」

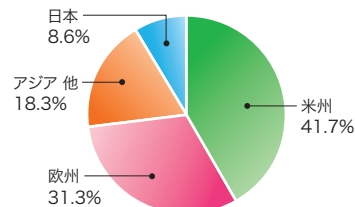
コンパクトながら高速かつ大量の読み取りが可能。無線LANを搭載し、パソコンなしでも簡単に読み取ったデータを活用できます。



◎売上高／営業利益
■売上高:通信・プリンティング機器
■売上高:電子文具
— 営業利益



◎市場別売上高の構成比
(2013年度 第2四半期累計)



パーソナル・アンド・ホーム事業

事業紹介

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。従来型のミシンに加え、パソコンを介してインターネットに接続する“ソーイングステーション”など、製品とサービスを通して、手づくりの新しい可能性を広げます。

主要製品等

家庭用ミシン

売上高

187億6千7百万円

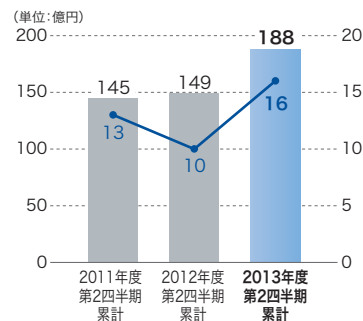
主に米州において売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響などにより、全体では前年同期比25.7%増の187億6千7百万円となりました。

営業利益

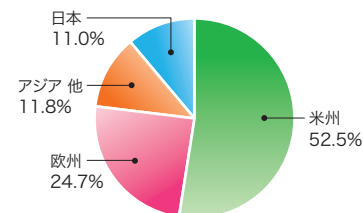
16億1千3百万円

主に為替のプラス影響により、前年同期比63.8%増の16億1千3百万円となりました。

◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比 (2013年度 第2四半期累計)



製品紹介

家庭用刺しゅうマシン 「イノヴィス VF1」

まっすぐな布送りをサポートする「レーザーガイドラインマーカー」をはじめ、家庭用ミシン業界初*の機能をいくつも搭載する、国内最上位モデルです。



* 2013年1月17日時点。ブラザー調べ。

職業用刺しゅうマシン 「PR1000e」

10針の採用やカメラの搭載など、職業用刺しゅう機業界初*の機能により、大幅な生産性向上を実現しました。



* 2012年8月20日時点。ブラザー調べ。

マシナリー・アンド・ソリューション事業

事業紹介

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用ミシンや、自動車やハードディスクドライブ、携帯電話などの部品加工業界に最適な工作機械の提案と密着したサポートを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

主要製品等

工業用ミシン、産業機器

売上高

300億4千9百万円

●工業用ミシン

中国・アジア地域における、縫製産業の設備投資への需要が回復した影響により、前年同期比49.8%増の124億6千9百万円となりました。

●産業機器

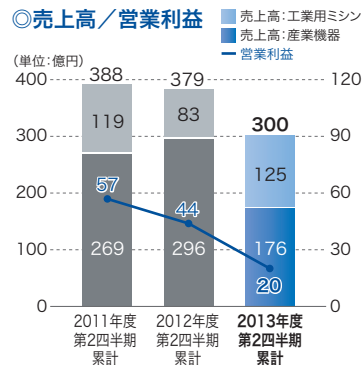
IT関連産業向けの需要が縮小した影響により、前年同期比40.6%減の175億7千9百万円となりました。

営業利益

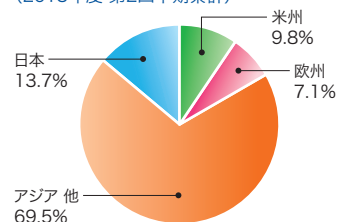
20億4千9百万円

産業機器の減収の影響により、前年同期比53.2%減の20億4千9百万円となりました。

◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比 (2013年度 第2四半期累計)



製品紹介

本縫針送りダイレクトドライブ自動糸切りミシン「S-7220C」

針送り機構の採用により均一な縫い目を実現するとともに、従来機に比べて約20%の省エネを達成しました。



コンパクトマシニングセンタ「SPEEDIO S500X1」

ブラザー独自の技術をベースに圧倒的な生産性を実現。自動車・IT関連機器など幅広い加工現場において、高い加工能力を発揮します。



ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

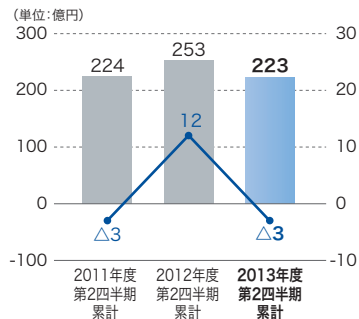
事業紹介 | 業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

主要製品等 | 業務用通信カラオケシステム、コンテンツサービス

売上高 | **222億5千6百万円**
前年に発売した通信カラオケ機器の新製品効果が薄れたことにより、前年同期比12.1%減の222億5千6百万円となりました。

営業損失 | **△2億9千2百万円**
通信カラオケ機器の減収の影響により、営業損失となりました。
(前年同期営業利益 12億1千4百万円)

◎売上高／営業利益



※ネットワーク・アンド・コンテンツ事業の売上は、日本が売上の大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業

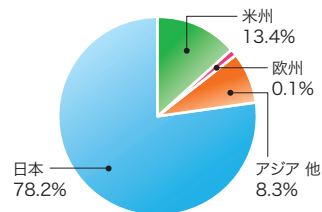
事業紹介 | 小型ギアモーターをはじめとする減速機事業において、豊富な製品バリエーションや特注品対応力を持ち、歯車事業においては、各種小型歯車の生産力や一貫生産能力などを強みとし、国内において高いマーケットシェアを維持しています。

主要製品等 | 減速機、歯車

売上高 | **76億3千8百万円**

営業利益 | **5億1千6百万円**

◎市場別売上高の構成比
(2013年度 第2四半期累計)



※工業用部品事業は、当年度より新たに開示するセグメントのため、前年度との比較はありません。

トピックス より多くのお客様にご満足いただくために

ブラザーは、アジア・中東などのお客様のニーズに合った製品を開発投入していくことで、新興国市場での販売拡大を目指しています。2013年5月には新興国向けに開発したモノクロレーザープリンター・複合機を発売しました。

新興国では、プリンターに求められる性能や使用環境が日本や欧米とはさまざまな点で異なります。そこで、各国・地域のプリンターの使用状況や使用環境を徹底的に調査し、新興国のお客様が期待するプリンター像を探りました。こうして導き出された新製品のコンセプトは「お求めやすさ」と「信頼性」。本体・消耗品ともお求めやすい価格設定、安定した紙送りを実現する機構、耐久性など、新興国で求められる要望を反映しています。

※このモデルは日本での発売予定はありません。(2013年8月9日現在)



HL-1110シリーズ



DCP-1510シリーズ



MFC-1810シリーズ

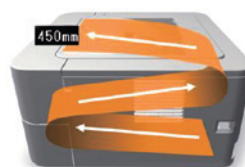
【コンセプトを実現するための技術】

特長
1

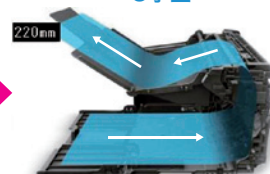
コンパクトな本体

用紙の搬送経路を従来のS字型からC字型に変更することで、その搬送距離を半減しました。また、空気抜き穴の設置や形状などの工夫により、トナーを高密度で充填し、トナーカートリッジを大幅に小型化しました。

〈従来製品〉
S字型



〈新製品〉
C字型



紙送りの経路を450mmから220mmに短縮

世界各地での 発表イベント

新興国向けの新製品を発売するにあたり、現地のテレビや新聞、雑誌などの報道関係者、お取引先を招いて、地域ごとに趣向を凝らしたイベントを開催しました。イベント後には各国の多数のメディアで紹介され、製品とブランドの認知度向上に大きな効果を上げています。



トルコ

〈イベントを開催した国・地域〉



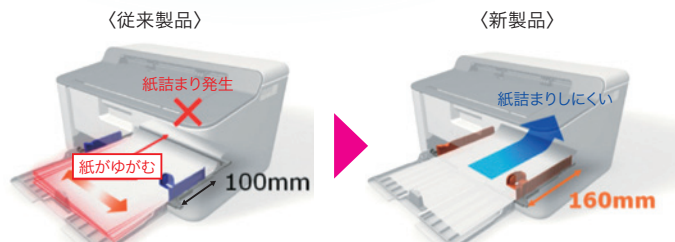
アラブ首長国連邦



ベトナム

特長 2 安定した紙送り

紙粉が付きにくいローラー素材を採用するとともに、用紙ガイドを100mmから160mmに長くすることで、厳しい環境で使用しても安定した紙送りを可能にしました。



用紙ガイドを長くして、安定した紙送りを実現

トピックス コンパクトマシニングセンタの新ブランド「SPEEDIO」誕生

SPEEDIO

工作機械の新ブランド「SPEEDIO(スピーディオ)」は、ブラザーの強みである生産性をさらに高めるとともに、高い環境性能、高い加工能力を発揮するコンパクトマシニングセンタです。

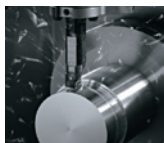
SPEEDIOには、穴開けやねじ切り、面取り加工能力を持つ「S500X1」「S700X1」と、さらに旋削機能を搭載した「M140X1」があります。自動車や二輪車、IT関連機器など、幅広い量産部品の加工に最適なコンパクトマシニングセンタです。



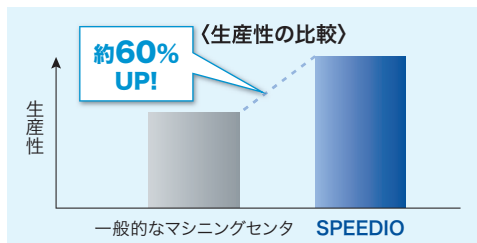
M140X1

SPEEDIOの特長特長
1**圧倒的な生産性**

加速度を大幅に向上させ、ムダ動作・ムダ時間を排除することで、圧倒的な生産性を実現しました。



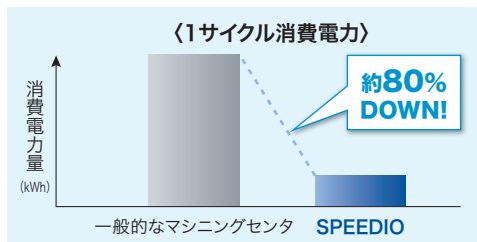
▲ 加工中の様子



※当社が用意した動作条件で比較したものです。

特長
2**高い環境性能**

減速時の発電エネルギーを再利用する電源回生システム、高効率モーターなどを積極的に搭載することで、特定のカテゴリーでトップクラスの環境性能を実現しています。



※当社が用意した動作条件で比較したものです。

トピックス 東日本大震災 継続的な復興支援活動

東日本大震災により被災された地域の復旧・復興を願い、ブラザーグループは「現地のニーズに合った、支援の効果が見える活動」「被災者の“生きがい創り、しごと創り”につながる活動」「従業員の積極的な参加」を3つの柱に位置付け、継続的な支援活動を着実に進めています。

仮設住宅近くの高台に 「きずな公園」が開園

2013年7月15日、宮城県七ヶ浜町で、仮設住宅の近くの高台に建設中だった「きずな公園」が開園し、現地で記念式典が行われました。

この公園は、「親子が安心して遊べる憩いの場がほしい」と言う住民の声をを受けて建設されたもので、その費用の一部



▲ 完成した「きずな公園」

として、ブラザーグループの従業員有志から集まった義援金530万円が使われています。

式典には、ブラザーの従業員20名が、一般の方21名と共にボランティア・バスツアーで愛知県から参加しました。ボランティア参加者は、式典前日に、公園の清掃作業や草刈り、案内板の設置、花壇の整備などを行いました。



▲ ボランティア・バスツアーの参加者

式典後には地元の子どもたちとの交流会を行い、ブラザーの布用プリンターで従業員が手づくりした「きずな公園」のロゴ入りハンカチや、式典に来られなかった従業員からのメッセージカードが子どもたちへ

手渡されました。また、子どもたちが公園で遊ぶ様子をデジタルカメラで撮影し、ブラザーのプリンターで写真を印刷してその場でプレゼントしました。



▲ その場で印刷した写真をプレゼント

ブラザーはこれからも継続して復興支援活動を行っていきます。

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2013年9月30日現在)	前期末 (2013年3月31日現在)	増 減
《負債の部》			
流動負債	117,185	107,054	10,131
支払手形及び買掛金	43,076	32,107	10,969
短期有利子負債	6,405	6,524	△ 119
未払法人税等	4,546	2,998	1,547
その他	63,157	65,423	△ 2,266
固定負債	37,478	35,670	1,807
長期有利子負債	12,900	12,700	200
その他	24,578	22,970	1,607
負債合計	154,663	142,724	11,939
《純資産の部》			
株主資本	281,265	278,341	2,923
資本金	19,209	19,209	—
資本剰余金	16,463	16,463	0
利益剰余金	258,559	255,639	2,920
自己株式	△ 12,967	△ 12,971	3
その他の包括利益累計額	△ 3,412	△ 15,503	12,090
その他有価証券評価差額金	4,220	2,344	1,875
繰延ヘッジ損益	△ 812	△ 443	△ 369
為替換算調整勘定	△ 6,820	△ 17,405	10,584
新株予約権	451	458	△ 6
少数株主持分	15,757	15,473	284
純資産合計	294,061	278,769	15,291
負債及び純資産合計	448,725	421,494	27,231

● 負債合計

支払手形及び買掛金の増加などにより、前期末に比べ119億円の増加となりました。

● 純資産合計

為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の増加により、前期末に比べ153億円の増加となりました。

連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	前第2四半期累計 (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)	増減
売上高	288,355	244,525	43,829
売上原価	165,627	138,901	26,725
売上総利益	122,727	105,623	17,104
販売費及び一般管理費	103,363	85,996	17,366
営業利益	19,364	19,626	△ 262
営業外収益	3,153	1,664	1,488
営業外費用	7,194	1,251	5,942
経常利益	15,323	20,040	△ 4,716
特別利益	227	85	141
特別損失	530	828	△ 297
税金等調整前四半期純利益	15,020	19,297	△ 4,276
法人税等	8,348	4,456	3,891
少数株主損益	237	0	237
四半期純利益	6,435	14,840	△ 8,405

売上高

産業機器の需要減少に伴い、マシナリー・アンド・ソリューション事業が減収となったものの、通信・プリンティング機器を中心に、円安による為替のプラス影響が出たことや、株式会社ニッセイの新規連結効果などにより、増収となりました。

営業利益

円安による為替のプラス影響はあるものの、産業機器が減収となったことや、販売費及び一般管理費などの費用増加の影響により、減益となりました。

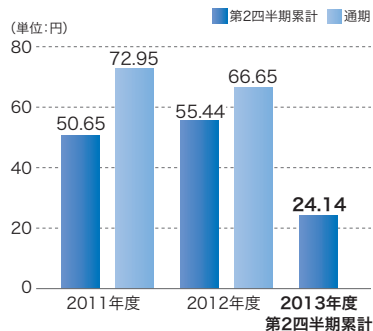
経常利益

保有している為替予約に係る決済差損が増加した影響により、減益となりました。

四半期純利益

税効果会計の影響で法人税等が増加したことなどにより、減益となりました。

1株当たり四半期(当期)純利益



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 (2013年4月 1日から 2013年9月30日まで)	前第2四半期累計 (2012年4月 1日から 2012年9月30日まで)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,795	13,563	12,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,367	△ 13,143	△ 5,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,359	△ 8,130	3,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,075	△ 2,688	5,763
現金及び現金同等物の増減額	6,144	△ 10,398	16,542
現金及び現金同等物期首残高	55,059	58,731	△ 3,672
新規連結・合併による現金増加	4,511	1,209	3,301
現金及び現金同等物四半期末残高	65,714	49,543	16,171

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は150億円となり、減価償却費などの非資金損益の調整の他、仕入債務の増加や法人税等の支払などにより、258億円の収入となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

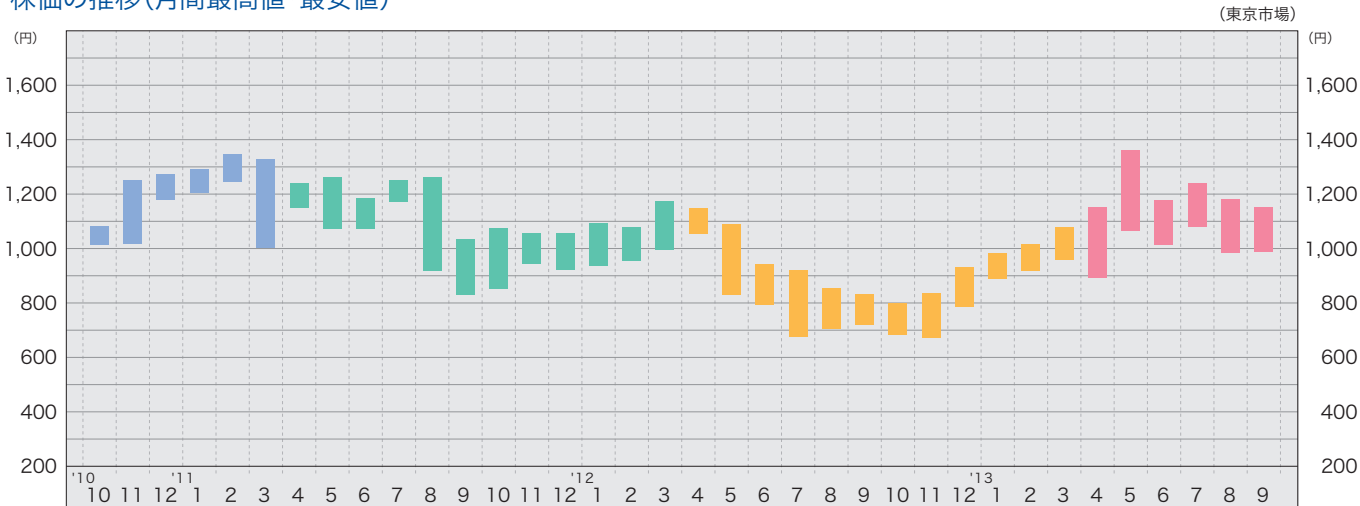
有形固定資産の取得による支出138億円、無形固定資産の取得による支出25億円、投資有価証券の取得による支出35億円などにより、184億円の支出となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払32億円、リース債務の返済による支出7億円などにより、44億円の支出となりました。

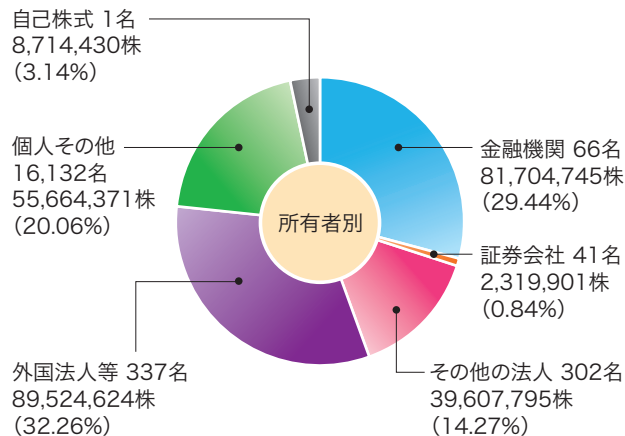
株式の状況

株価の推移(月間最高値・最安値)



株式の分布状況 (2013年9月30日現在)

- 発行可能株式総数……………600,000,000株
- 発行済株式総数……………277,535,866株
- 株主総数……………16,879名



大株主 (上位10名)

(2013年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー※	19,912	7.17
日本生命保険相互会社	12,839	4.63
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)※	11,843	4.27
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)※	10,678	3.85
株式会社三井住友銀行	8,398	3.03
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント※	6,871	2.48
ブラザーグループ従業員持株会	4,542	1.64
住友生命保険相互会社	4,499	1.62
朝日實業株式会社	4,360	1.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,796	1.37

- 注1：持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 注2：持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しています。
 注3：※印のある株主の所有株式は、全て当該各社の信託業務にかかる株式です。
 注4：上記のほか、自己株式が8,714千株(持株比率3.14%)あります。

会社の概要

基本データ (2013年9月30日現在)

商号	ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561 TEL : 052-824-2511 (代表)
設立	1934年1月15日
資本金	192億9百万円
上場証券取引所	東証1部、名証1部
従業員	連結 : 33,571名 単独 : 3,841名
グループ会社	連結子会社64社、持分法適用会社5社 (日本19社、米州10社、欧州19社、アジアその他21社)

役員 (2013年10月1日現在)

【取締役】

小池 利和	※代表取締役社長	内部監査部、経営企画部、新規事業推進部 直轄
石川 茂樹	※代表取締役 専務執行役員	QM推進部、CS推進部、開発管理部、知的財産部、 技術開発部 担当 兼 技術開発部長
長谷川友之	※取締役 常務執行役員	工業用部品事業統括 兼 IT戦略推進部 担当
平野 幸久	*取締役	
西條 温	*取締役	
服部 重彦	*取締役	
深谷 紘一	*取締役	

【監査役】

成田 正人	監査役 (常勤)	
高次 正樹	監査役 (常勤)	
松尾 邦弘	*監査役	
海野 隆雄	*監査役	
丸山 弘昭	*監査役	

【常務執行役員】

神谷 純	N&C事業統括 兼 N&C事業推進部、ネットワークシステム開発部 担当 兼 N&C事業推進部長、株式会社エクスティング 代表取締役会長
浅井 侯序	グローバルCSR 推進部、コーポレートコミュニケーション部、 法務・総務部 担当 兼 グローバルCSR 推進部長
松本勇美夫	P&S事業 (レーザー/電子文具) 統括 兼 開発企画部、電子システム開発部、 メカシステム第1開発部、メカシステム第2開発部、LE開発部、ES開発部 担当
亀之内孝文	営業企画部、商品企画部、サービス&ソリューションズ事業推進部 担当、 ブラザーインターナショナル株式会社 代表取締役社長
佐々木一郎	サービス&ソリューションズ事業統括 兼 ソフトウェア第1開発部、 ソフトウェア第2開発部、アプリケーション開発部 担当

【執行役員】

藤井 宗高	財務部 担当 兼 財務部長、株式会社ブラザーファイナンスジャパン 代表取締役、 ブラザーファイナンス(U.K.) 取締役社長
川那辺 祐	マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー プレジデント
鈴木 雅彦	P&S事業 (インク) 統括 兼 IE開発部、IE技術部、総合デザイン部 担当
三輪 祐司	製造企画部、製造部、購買部、環境推進部 担当
服部 親将	生産技術部、部品技術部、電子技術部、試作技術部 担当
若原 宏之	人事部 担当 兼 人事部長
久野 光康	パーソナル・アンド・ホーム カンパニー プレジデント

【グループ常務執行役員】

片山 俊介	ブラザー販売株式会社 代表取締役社長
石川 博	兄弟高科技 (深圳) 有限公司、兄弟工業 (深圳) 有限公司 董事長
石黒 雅	ブラザーインターナショナルコーポレーション (U.S.A.) 取締役社長

【グループ執行役員】

只 雄一	ブラザーホールディング (ヨーロッパ) 取締役社長、 ブラザーインターナショナル (ヨーロッパ) 取締役会長兼社長
------	--

注1 : ※印の取締役 小池 利和、石川 茂樹、長谷川 友之は執行役員を兼務しています。

注2 : *印の取締役 平野 幸久、西條 温、服部 重彦、深谷 紘一は社外取締役です。

注3 : *印の監査役 松尾 邦弘、海野 隆雄、丸山 弘昭は社外監査役です。

株主メモ

事業年度…………… 4月1日～翌年 3月31日
定時株主総会…………… 毎年 6月
期末配当金受領株主確定日…………… 3月31日
第2四半期末配当金受領株主確定日…………… 9月30日
基準日…………… 3月31日
公告掲載URL …… <http://www.brother.co.jp/investor/>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

■ 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081
TEL:0120-232-711(通話料無料)

※株券電子化に伴い、株主さまの住所変更その他各種お手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

展示館・ショールームのご案内

ブラザー コミュニケーション スペース



歴史と共に技術の変遷をたどる製品展示、主力製品の紹介展示、各種企画展示を行っております。ブラザーについて知っていただくためのおもてなし空間へ、ぜひお越しください。(見学は要事前予約)



<http://www.brother.co.jp/bcs/>

名古屋市瑞穂区塩入町5番15号 〒467-0851
TEL : 052-824-2227

ブラザー東京ショールーム



ホームからオフィスまで、さまざまなブラザー製品を体験できるスペースです。ブラザー製品をすでにお使いのおお客様のご相談の場として、これからブラザー製品をお買い求めになるお客様のご検討の場として、ブラザー製品を心ゆくまで体験いただけます。

<http://www.brother.co.jp/tokyo-showroom/index.htm>

東京都中央区京橋3丁目3番8号 〒104-0031
TEL : 03-3281-1125

ブラザー工業株式会社

本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561